



「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町26-9
 電話番号：0187-63-2257 FAX:0187-62-3434(大嶋農場:FAX兼用 0187-68-2381)
 U R L：http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp
 *農場だよりに関するお問い合わせは農場経営部までご連絡下さい。

農場長(高橋寿徳)より

収穫感謝祭真っ最中 ～ここでも大農の思いが～

多くの市民を感動の渦に巻き込んだ大農祭が大成功に終わりました。皆さんも祭壇に飾られた農作物を見て様々な思いがあったに違いありません。大農祭ばかりではなく、それぞれの地域や団体など、あちらこちらで収穫に感謝するイベントが行われています。第137回を数える秋田県種苗交換会もその一つです。

先日、JA秋田おばこから「大農産」の名前を使ってもよいかとの連絡を受けました。詳しく聞いてみると、後日行われる同JAの収穫感謝祭「豊饒まつり」で、大農生まれの牛肉を販売するとのことでした。現3年生が入学して間もなくの5月4日生まれで、実習で手をかけた「大農蒼空(だいのうそら)」は、あの「義平福」を父に持つ「だいのうさくら」の子です。A4ランクの高級牛肉として売られるらしく、複雑な思いがしますが、私たちが育てた牛が肉となり、私たち人間の命となるのはとてもありがたいことです。私たちが生きていくことができるのは、多くの生き物の命のおかげであることを忘れてはなりません。

水田部門

(担当者：藤井亨、高橋寿徳、佐々木尚人、黒田一久)

大農米の出荷が全て完了しました。全品種・全量一等米の格付けを頂きました。稲刈り・籾すり・出荷と慌ただしい中、よく頑張りました。ありがとうございます。

現在、実習では来年に向けた準備を始めています。床土の準備作業や農業機械の整備等、豊作の願いを込めながら行っているところです。

小家畜部門

(担当者：田口健一、佐藤晴輝)

“大農祭”ならびに“稔りフェア”での鶏卵販売は大盛況でした。数が少なかったために、買うことができなかつたお客様には大変申し訳なく思っております。卵は、週末を中心に農業科学館で販売しておりますので、そちらも是非ご利用ください。

大家畜部門

(担当者：佐々木惇、佐藤晴輝)

10月16日(木)中央保育園の園児が農場に来ました。ウシに草を与えたり、クイズに挑戦したりしました。



中家畜部門

(担当者：守屋拓、小林和成)

5月10日に生まれた豚7頭が出荷されます。出荷された豚は雄和の食肉流通公社でと畜・解体され、県内各所(スーパーなど)に流通します。ひょっとすると、皆さんが口にするお肉も大農の豚なのかもしれませんね。8月末に生まれた子豚たちは元気に育っております!

生物工学部門

(担当者：平塚祥広、大沼克彦、照井豊和、佐藤潤之介)

朝晩が冷え込み、温室内は暖房によって温度維持する季節になりました。ランは人が嫌になる気温(暑いジメジメした夏や厳しい乾燥した冬)を好む不思議な植物です。という訳でカトレアが開花し始めました。ランの女王と呼ばれるこのカトレア、大型のものから小さなものまで色とりどりの表情を見せてくれます。近くにお越しの際は温室をのぞいてみてください。



食品加工 部門 (担当者：伊藤寿人、三嶋登忍)

パンの起源

パンの原料である小麦は、紀元前8000～7000年頃、西アジアで栽培されるようになりました。やがて、古代メソポタミアでは、小麦に水を加えて焼き上げた無発酵の平焼きからパンの製造が始まりました。その後、紀元前3000年頃のエジプトで、酵母の発酵作用を利用してふくらませる方法に変化したといわれています。日本へは、約450年前ポルトガル人によってパンが伝来しました。平焼きパンは現在も、インドのチャパティなどとして残っています。

パンにあう大好評のリンゴジャムの製造が始まりました。

リンゴは酸濃度が0.2～0.4%、おもな有機酸の含量はリンゴ酸・クエン酸が70～95%と爽やかな甘さが特徴の果実です。大曲農業高等学校の「リンゴジャム」は厳選した秋田県産の果実と、てまひまかけた製造方法で生徒に大人気商品となっています。

第9回『食の国あきた』県民フェスティバル2014で大農加工品をアピール！！

平成26年10月4日(土)5日(日)に秋田駅前「アゴラ広場」で行われた第9回「食の国あきた」県民フェスティバルに参加し、大農生が作った「加工食品」を広く県民に宣伝してきました。また、10月25日(土)の大農祭「仮装行列」と10月26日(日)の大農祭「一般公開」「農産物販売」についても宣伝してきました。



4日(土)は石川文子アナウンサーと商品説明



5日(日)は桜庭みさおアナウンサーと商品説明

果樹 部門 (担当者：佐々木孝之、佐藤農)



大農祭でのスチューベンのご購入ありがとうございました。隣の食品加工部門に並ぶお客さんに圧倒されてしまいました。(例年のことですが...)

青森県産のスチューベンは12月に市場に出てきます。本校スチューベンも11月中旬以降、販売できるよう貯蔵しています。

野菜 部門 (担当者：古戸毅、小松万里子、富樫久雄)

3年課題研究野菜班は、高菜を栽培して高菜漬けを作りました。

とっても美味しくできましたよ。



花卉 部門 (担当者：和泉有紗、山代和也)



大農祭、地域産業祭「稔りフェア」での草花販売は大盛況のうちを終えることができました。ありがとうございました。また、購入していただいた方にお渡しした「しおり」もご好評をいただきました(3年課題研究の生徒が作成したものです)。

現在、シクラメンの販売実習を行っております。ぜひ、この機会にお買い求めください。

マーケティング 部門 (担当者：佐々木優子、三浦薫)

今年度も多くの地域の方に農産物販売所(大農うめもん市)に足を運んで頂きました。本当にありがとうございました。マーケティングの生徒2・3年生を中心に販売所の運営を行いました。地域の皆様のおかげで無事に今年度の販売を終了することができました。

生徒の笑顔で地域の方々が少しでも笑顔に元気になれば嬉しく思います。今年度の反省を行い、課題を解決して来年度につなげていきたいと思っています。